

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2001-8085 (P2001-8085A)  
 【公開日】平成 13 年 1 月 12 日 (2001.1.12)  
 【出願番号】特願 平 11-178593  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/232

G 0 2 B 7/36

G 0 3 B 13/36

【F I】

H 0 4 N 5/232 H

G 0 2 B 7/11 D

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 25 日 (2004.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エリア分割によるオートフォーカス機能を持つ撮像装置において、

前記オートフォーカス機能がフォーカスが合っていると判断しているエリアに所定の色を付け、撮影状態を変化させることにより、所望するエリアでフォーカスを合わせることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

エッジ検出による位相差検出方式のオートフォーカス機能を持つ撮像装置において、

前記オートフォーカス機能がフォーカスが合っていると判断しているエッジ部分に、所定の表示を表示させ、撮影状態を変化させることで所望する前記エッジ部分でフォーカスを合わせることを特徴とする撮像装置。

【請求項 3】

撮像素子と、

前記撮像素子により撮像された画像の少なくとも一部を複数の撮像エリアに分割し該撮像エリア単位でフォーカスを合わせるオートフォーカス手段と、

前記オートフォーカス手段によりフォーカスが合った前記撮像エリアをフォーカスエリアとして特定するフォーカス特定手段と、

前記フォーカスエリアを示すフォーカス表示を生成し、該フォーカス表示と前記撮像素子により撮像された画像とを重ねて表示する表示部と  
を具備する撮像装置。

【請求項 4】

撮像素子と、

前記撮像素子により撮像された画像のフォーカスを合わせるオートフォーカス手段と、

前記オートフォーカス手段により前記画像のフォーカスが合った水平方向の位置を検出するフォーカス検出手段と、

前記フォーカス検出手段により検出された水平方向の位置を示すフォーカス表示を生成し、該フォーカス表示と前記撮像素子により撮像された画像とを重ねて表示する表示部と

を具備する撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】上記した課題を解決するために、この発明の撮像装置では、エリア分割によるオートフォーカス機能を持つ撮像装置において、前記オートフォーカス機能がフォーカスが合っていると判断しているエリアに所定の色を付け、撮影状態を変化させることにより、所望するエリアでフォーカスを合わせることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、エッジ検出による位相差検出方式のオートフォーカス機能を持つ撮像装置において、前記オートフォーカス機能がフォーカスが合っていると判断しているエッジ部分に、所定の表示を表示させ、撮影状態を変化させることで所望するエッジ部分でフォーカスを合わせることを特徴とする。

さらに、この撮像装置は、撮像素子と、撮像素子により撮像された画像の少なくとも一部を複数の撮像エリアに分割し該撮像エリア単位でフォーカスを合わせるオートフォーカス手段と、オートフォーカス手段によりフォーカスが合った撮像エリアをフォーカスエリアとして特定するフォーカス特定手段と、フォーカスエリアを示すフォーカス表示を生成し、該フォーカス表示と撮像素子により撮像された画像とを重ねて表示する表示部とを具備している。

また、この撮像装置は、撮像素子と、撮像素子により撮像された画像のフォーカスを合わせるオートフォーカス手段と、オートフォーカス手段により画像のフォーカスが合った水平方向の位置を検出するフォーカス検出手段と、フォーカス検出手段により検出された水平方向の位置を示すフォーカス表示を生成し、該フォーカス表示と撮像素子により撮像された画像とを重ねて表示する表示部とを具備している。